

## 今後の児童・生徒数、学級数の推計

## 1 今後の小学校児童数の推計（平成 25 年度～平成 31 年度）

今後 6 年間の小学校の児童数を現在の住民登録を基に予測すると、児童数は市全体で 15%減少します。校区によっては、著しく減少する校区が見られます。また、住吉校区は新たな住宅団地の開発により、当面の間ほぼ横ばいで推移します。

平成 25 年 5 月現在（人）

学校名	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	増減	減割合
大町	102	85	76	73	62	50	51	△ 51	△ 50%
村木	98	102	103	101	96	98	96	△ 2	△ 2%
住吉	157	173	184	182	176	181	165	8	5%
上中島	66	62	61	66	56	55	60	△ 6	△ 9%
松倉	66	61	54	55	53	46	37	△ 29	△ 44%
上野方	129	122	107	104	93	91	89	△ 40	△ 31%
本江	438	433	439	413	424	393	390	△ 48	△ 11%
片貝	57	53	47	42	39	35	31	△ 26	△ 46%
吉島	481	454	458	468	455	418	424	△ 57	△ 12%
道下	343	355	328	336	311	314	315	△ 28	△ 8%
経田	227	213	202	189	176	185	184	△ 43	△ 19%
西布施	48	47	46	43	44	41	33	△ 15	△ 31%
合計	2,212	2,160	2,105	2,072	1,985	1,907	1,875	△ 337	△ 15%

## (1) 減少が見込まれる小学校

今後、児童数の大幅な減少が見込まれる主な小学校は、

- ・大町小学校 102 名 → 51 名 △51 名 (△50%)
- ・片貝小学校 57 名 → 31 名 △26 名 (△46%)
- ・松倉小学校 66 名 → 37 名 △29 名 (△44%)
- ・西布施小学校 48 名 → 33 名 △15 名 (△31%)
- ・上野方小学校 129 名 → 89 名 △40 名 (△31%)

となっています。

## (2) 横ばいで推移する小学校

今後、児童数が概ね横ばいで推移することが見込まれる小学校は、

- ・住吉小学校 157 名 → 165 名 8 名 ( 5%)
- ・村木小学校 98 名 → 96 名 △ 2 名 (△2%)

となっています。

## 2 今後の小学校学級数の推計（平成 25 年度～平成 31 年度）

今後 6 年間の小学校の学級数を児童数の推計から予測すると、学級数は市全体で 14 学級減少します。平成 24 年度から複式学級編成となっている西布施小学校のほか、片貝小学校では平成 26 年度から、松倉小学校では平成 28 年度から、大町小学校では平成 30 年度から、上中島小学校では平成 31 年度から複式学級編成となることを見込まれます。なお、村木小学校、住吉小学校、上野方小学校では全学年でクラス替えのできない小規模校となっており、経田小学校もほぼクラス替えのできない小規模校となっています。

学校名	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	増 減
大 町	6	6	6	6	6	5	5	△1
村 木	6	6	6	6	6	6	6	0
住 吉	6	6	6	6	6	6	6	0
上中島	6	6	6	6	6	6	5	△1
松 倉	6	6	6	5	5	5	4	△2
上野方	6	6	6	6	6	6	6	0
本 江	14	14	15	15	15	14	13	△1
片 貝	6	5	5	4	4	4	3	△3
吉 島	15	15	16	16	14	12	13	△2
道 下	12	12	12	12	12	12	12	0
経 田	9	8	7	6	6	7	7	△2
西布施	5	5	4	4	4	4	3	△2
合 計	97	95	95	92	90	87	83	△14

 は小規模校、 は過小規模校

## 3 今後の中学校生徒数の推計（平成 25 年度～平成 31 年度）

今後 6 年間の中学校の生徒数を現在の住民登録を基に予測すると、市全体で見れば、生徒数は多少増減するものの総じて減少傾向にあります。

平成 25 年 5 月現在（人）

学校名	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	減人数	減割合
西部中	533	544	549	562	546	538	494	△39	△7.3%
東部中	646	656	641	587	586	582	569	△77	△11.9%
合計	1,179	1,200	1,190	1,149	1,132	1,120	1,063	△116	△9.8%

#### 4 今後の中学校学級数の推計（平成 25 年度～平成 31 年度）

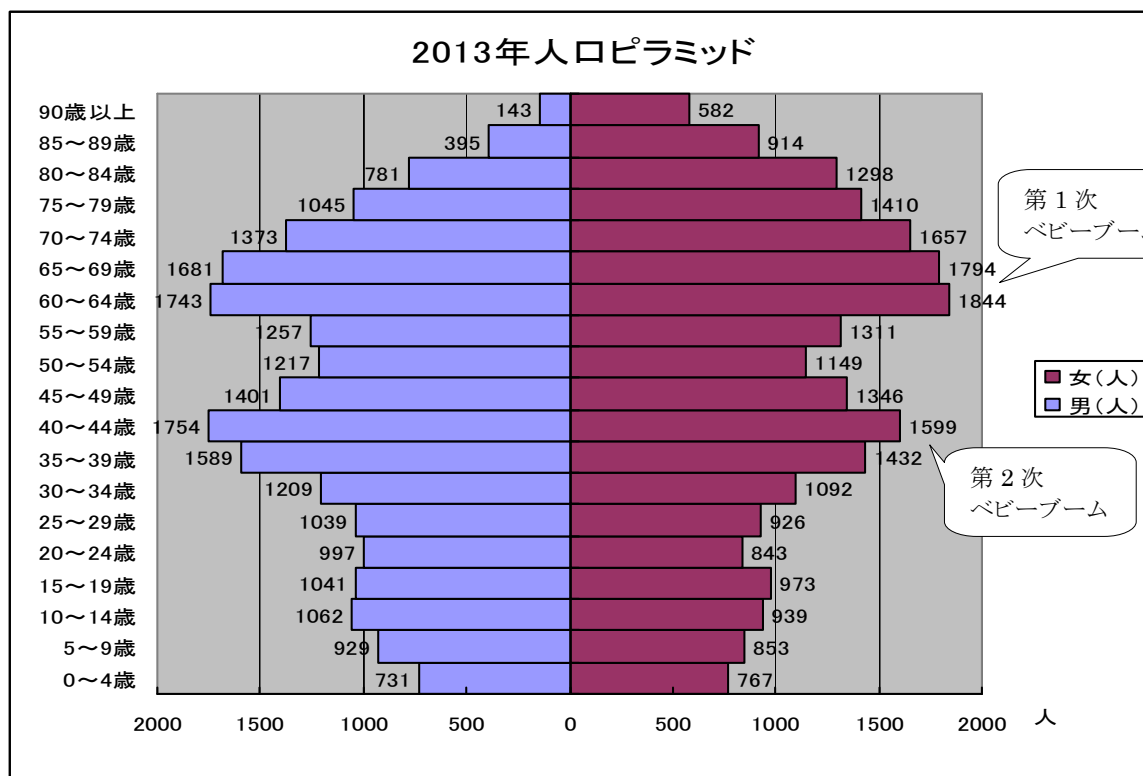
今後 6 年間の中学校の学級数を生徒数の推計から予測すると、学級数は市全体で 3 学級減少します。中学校別にみると、西部中学校では 1 学級の減、東部中学校では 2 学級の減となるものの学校規模としては適正規模を維持します。

学校名	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	増 減
西部中	16	15	15	15	15	15	15	△1
東部中	18	18	18	17	17	17	16	△2
合計	34	33	33	32	32	32	31	△3

#### 5 人口ピラミッドから予測する将来的な児童・生徒数の推計

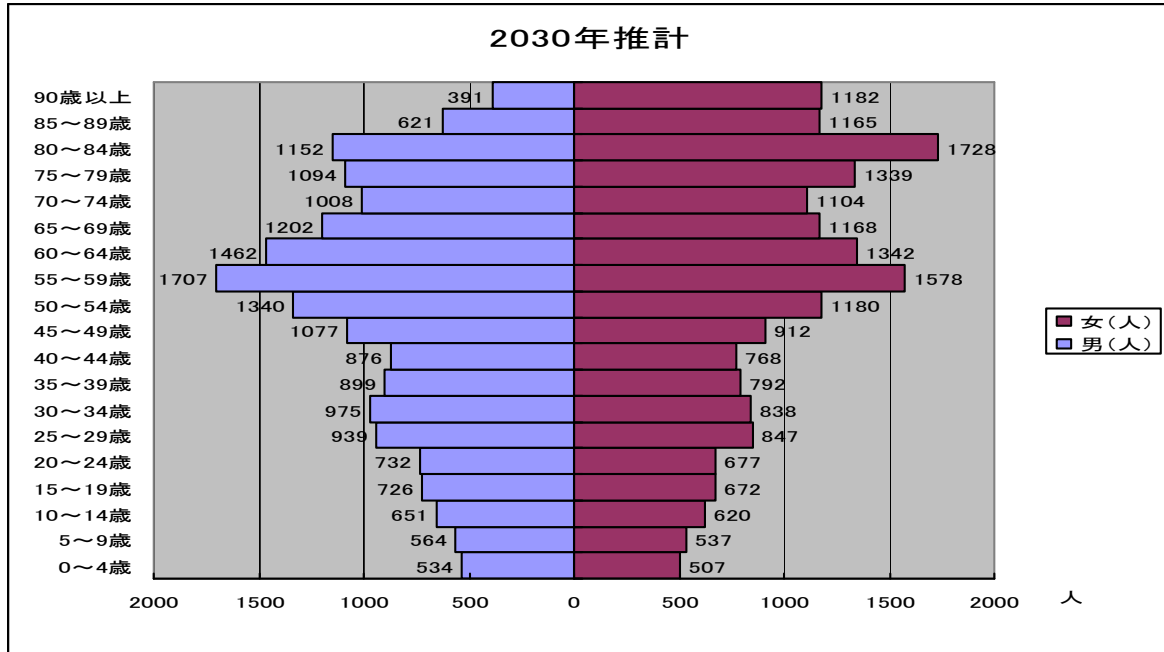
2013 年（平成 25 年）の人口構成をみると、第 2 次ベビーブーム世代が子育て期にあり、10 歳以上の生徒数の減少傾向は一時的に横ばいとなっていますが、今後、この世代が子育てを終え始めると急激に児童生徒数が減少しはじめ、魚津市の小学校の児童数は、10 年後には 1,700 名を割り込み、20 年後には 1,100 名まで減少することが予想されます。また、中学校の生徒数も 10 年後には 1,000 名を割り込み、20 年後には生徒数は約 700 名にまで減少することが予想されます。

住民基本台帳人口（平成 25 年 10 月）



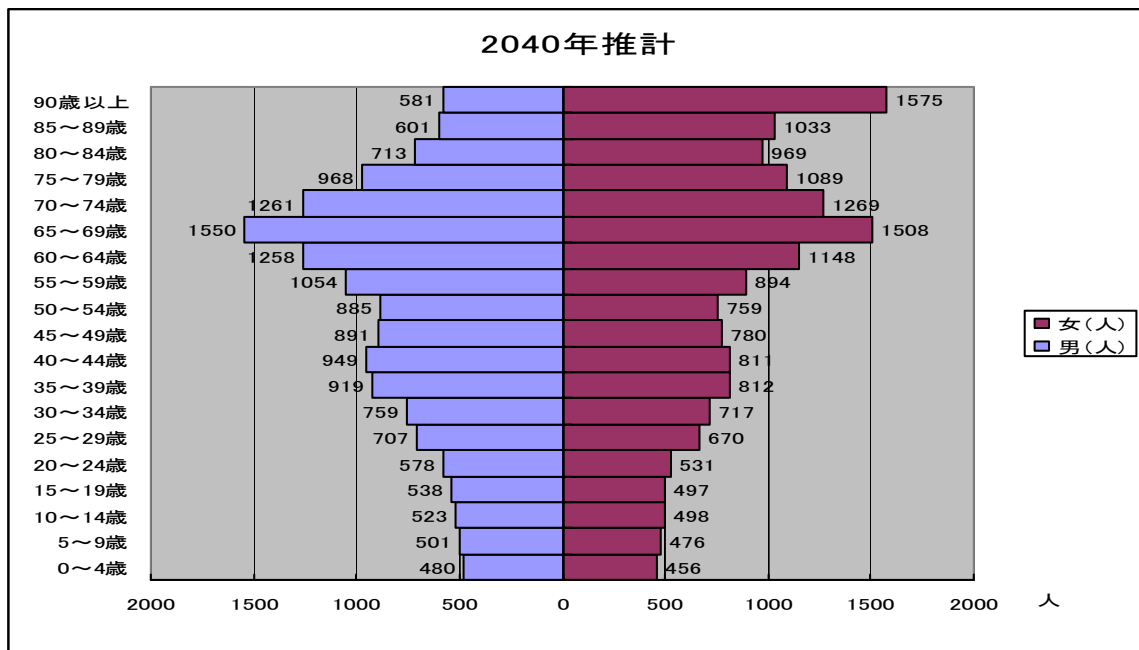
国立社会保障・人口問題研究所が平成25年3月に発表した魚津市の人口推計によると、2030年（平成42年）には総人口が36,906人となります。うち0歳から14歳までの年少人口が3,114人（総人口に占める割合9%）に対し、65歳以上の高齢者人口は12,950人（同38%）となります。

なお、この頃には年間出生数は200人程度になることが予想されます。



国立社会保障・人口問題研究所発表資料（平成25年3月）

2040年（平成52年）になると魚津市の総人口は32,208人に、0歳から14歳までの年少人口は2,934人（総人口に占める割合9%）、65歳以上の高齢者人口は13,117人（同41%）となり、超高齢社会が一層拡大しています。



国立社会保障・人口問題研究所発表資料（平成25年3月）